鎌田地区まつり

かまど

鎌田地区
令和６年 11 月１日現在
総人口　20,039人
（前年比　+7人）
世帯数　9,685戸
発行者　鎌田地区公民館
公民館報編集委員会

天候に恵まれた10月19日（土）、「鎌田地区まつり」会場に大勢の人が集いました。

公民館サークルによる展示発表
素敵な作品がいっぱい

ひろばの展示と来場者

「殺陣チーム　バチボコ」と
記念撮影

子どもたちのかわいらしいチアダンス
「チア・ラスターズ」

この帆船模型、すごいなぁ！

日赤奉仕団のみなさん
カレー、ごっつぁんです！

人気のフランクフルト

途切れぬ
わたあめの列

抽選会場
いい景品当たれ〜

災害に備えて
給水車体験

素敵な歌声が響く「鎌田小・中合唱部」と「コーラスK」のコラボ

そば打ち講座

鎌田地区公民館で9月26日、大手公民館の遠藤館長を講師にそば打ち講座を開催しました。

初めてやる人が多く、苦戦しながらも粉を混ぜるところからそばを切るところまで体験しました。水の量や生地のこね方・伸ばし方、そばの切り方の違いから、太かったり細かったりといろいろでした。

「もっと生地を薄く伸ばせば細くなりそう」「折りたたむとき打ち粉が少なかったからくっついた」など課題を見つけ、次回への期待や意欲を見せる参加者でした。

最後は講師の打った蕎麦を試食しましたが、市販の蕎麦よりも香りがよくとてもおいしかったです。

こうやって伸ばせば

◀ こういうそばができるんだよ

からだの体操、頭の体操 オレンジカフェかまだ

ちびゆりさんと健康ディスコ

10月4日に「オレンジカフェかまだ」が高宮公民館で開催され、41名が集まりました。

この活動は、認知症の方やその家族、地域住民が気軽に集まり、交流を深めることを目的としています。

この日の内容は「あったかほーむかまだ」の渡（わたり）美江子さんの講演「生活習慣から見直す認知症予防」と、プロダンサーちびゆりさんの健康ディスコでした。

健康ディスコではポップ調の曲に合わせてみんなで体を動かしますが、手と足の動きが左右逆になることもあり、笑顔があふれました。

リラックスした雰囲気の中で、健康的な生活習慣の大切さを学ぶ有意義な時間となりました。

認知症の予防法は

地域交流 ふれあいお楽しみ会

10月8日、鎌田児童センターと鎌田地区まちづくり協議会福祉部会の共催で、子どもたちと地域の皆さんが交流する「地域交流・ふれあいお楽しみ会」が鎌田体育館で開催されました。

はじめは、「プラチナマジック」3人による手品です。途中から仕掛けに気づいた子どもたちが「わかった、わかった」と言ってもとぼけて最後まで演じるマジシャンに大笑いで盛り上がりました。

次はゲームです。高学年の子どもたちが店番をする「豆つかみ」「コップの金魚すくい」など、8つのコーナーを大人が客になってゲームに挑戦しながら回っていきます。失敗しても「何回でも挑戦していいよ」とやさしい子どもたち。

年代を超えたふれあいと笑いのある交流に、心が温かくなるひと時でした。

金魚すくいだよ

ほーら、不思議でしょ！

雑感

市の特別史跡「源智の井戸」の町会有志による長年の清掃活動の継続が、高齢化と後継者不足のため困難だと知って胸が痛んだ▼井戸は、平成20年に「まつもと城下町湧水群」として国の「名水百選」に選定された20の井戸の一つでもある。城下町前からの清水として広く知られ、歴代城主も制札により浄化を保護してきた▼清掃は井筒の藻の除去や草取り、しめ紙の張替えなど作業が多く、他の井戸も同じ問題を抱える所が少なくない▼松本城の周辺は井戸の公園化や整備により潤いのある美しい街並みとなり、市民も多くの観光客も清涼な湧水の味巡りを楽しめる。陰で支える地域住民の活動があってこそと、改めて感謝したい▼能登半島地震で続いた断水もあり、市は「災害時協力井戸」の登録制度を新設し、募集を始めた。松本市にとって井戸の存在意義は大きい。維持活動は、井戸のある近隣地域だけの問題ではなく、中高生の親子や学生など広く募集し交代で回すとか、市民と行政との連携施策で長い存続を願うばかりである。（南雲多榮子）